

第2回総合戦略等策定懇話会(H27.8.10)での総合戦略に係る主な意見【会議の場で回答済の質問を除く】

No.	意見者	分類	意見概要	対応
1	菅野委員	学生への情報発信	学生アンケートでは「情報の発信が足りない」との結果があり、行政がしっかり取り組んでいることがうまく伝わっていない可能性があります。この辺りの内容が行政と市民のギャップ感があります。	P16 基本目標2 (ア)⑤
2	小林委員	連携の目的	総合戦略を早々と発表している京丹後市は、信州大学繊維学部と連携して総合戦略を進めていました。何のために、何をやる連携なのかを研ぎ澄ました方が効果的だと思います。	P32～33 基本目標4 (カ)①～⑤
3	師橋委員	学生へのアピール、働きかけ	ローカルアベノミクスに関連して、現在、大学の定員は約1.2倍の割増しがありますが、平成28年度は1.17倍、平成29年度は1.16倍、平成30年度は1.1倍に学生の数を絞っていかなくてはなりません。習志野市に来ている学生に習志野の良さをもっとアピールしていかなくてはなりません。習志野市の企業に就職してもらうように、積極的に働きかけをしていく必要があります。	・P16 基本目標2 (ア)⑤ ・P22 基本目標3 (イ)①
4	副会長	施策の具体化	(商店街の活性化及び婚活支援、未来都市づくり、一人一人の人的資源の掘り起こし等について)内容を具体化していただければと思います。	・P24 基本目標3 (エ)③ ・なお、個別事業については、戦略策定後、H28年度予算編成作業と併せ、別途アクションプランを作成し、記載する予定です。
5	寺木委員	目標値の設定	整合性を図ることが難しく、指標化して値の評価をすると面倒なことが起こると聞いています。この手の話は質的な話がほとんどであり、予算がいくら等の話をしてあまり意味がありません。KPIや基準値や目標値を上手く記述された方が5年後に苦労しなくてすむと思います。質的な評価の表現は難しいとは思いますが、工夫していただければと思います。	資料2 各KPI案参照。
6	会長	具体的な施策の選定、目標値の設定	これから柱に沿ってKPIを設定していくと思いますが、各課から上がってくる数値をまとめるだけなのか、それとも一点突破で向かっていくような方針を決めて、市長等がリーダーシップをとって進めていくのかで違いがあるかと思っています。今のままだと各課から挙がってくる意見を釣り上げるようになり、どこに魅力があるのかわからない状況になりかねません。どこから行うのかを決めることが大切です。委員の意見を参考にし、魅力あるものにしていただけたらと思います。	
7	会長	具体的な施策の選定、アクションプラン	他市で行っている取組、まずは市の職員が市に住みたいと思う取り組みをしたら面白くなるのではないのでしょうか。その辺りもアクションプランで示してほしいと思います。	・戦略策定後、H28年度予算編成作業と併せ、別途アクションプランを作成する際に検討いたします。
8	時田委員	都市型農業の推進	JAIに勤めている関係で都市型農業の推進とありますが、農地をどのような形で活用すれば魅力あるまちづくりができますか。そのような方向性を探った方がよいかと思っています。都市型農業で野菜を育てるとの発想ではなく、農地と緑の空間を作れば人が集まるかと思っています。	P18～19 基本目標2 (エ)⑥
9	時田委員	公共施設再生	公共施設の再編・改修とありますが、多額の金額を用いて改修等をしながら人々の要望に応えていくバランスとはどのように考えていますか。お金がなくても、将来のために市民意識を高めなければならないかと思っています。	P27 基本目標4 (ア)①
10	会長	都市型農業の推進	つくば市では、従来の市民農園に小屋を併設して滞在型農園にしたところ、かなりの高倍率で応募がありました。仕事をリタイアして農業をする方が多くなっています。育てた野菜を地域の中で消費し、他市に比べて食料自給率が高く、都市の持続性のKPIに繋がれば魅力的になるかと思っています。	P18～19 基本目標2 (エ)⑥
11	寺木委員	目標値のチェック時期	2ページにPDCAサイクルの記載がありますが、そのチェックが今後作るKPIIになるかと思っています。基本構想の計画自体が平成37年までということを考えても、中間段階でチェックするベンチマークという位置付けがないと辛いのではないのでしょうか。現実的なところを抑え、確実に実施すれば習志野市の未来につながるものを作ってほしいと思います。そのためには、ある程度の年月が必要で、5年では短く感じます。10年で考えて5年後に中間チェックをして足りない所はテコ入れをしなければ実現しないと思います。	本戦略の計画期間は5年間であり、目標値も主に5年後の31年度に設定しています。次の戦略策定における目標値の設定の際に、これまでの目標値に係る進捗等を鑑み、必要があると考えます。
12	小林委員	観光	個々の事業で検討していても、楽しいことがやや少ないように思えます。地方創生の柱の一つである観光の記述が少なく感じます。市にはわざわざ遠くから来る人向けの資源が無いかもしれません。しかし谷津干潟はラムサール条約の登録地として単に保護の対象であって、楽しむための場所でなくなっておりもったいないと思います。	P20 基本目標2 (エ)⑧

No.	意見者	分類	意見概要	対応
13	副会長	地域資源を活かす	新しい物を誘致するには、資金や年月がかかると思います。個人的に習志野愛が強いのですが、今あるものを利用できないのでしょうか。谷津干潟もそうですし、公園整備や「習志野きらっと」を開催しても馴染みのない人もいるかと思います。農業にしても「習志野ニンジン」という特産物を打ち出すとか、今あるものをもっと活用していくのはどうでしょうか。市民も知らないことがたくさんあり、奏の杜など新しく入ってきた人に習志野の良さをアピールすることが必要ではないでしょうか。大学や商業施設とのコラボのようなことがあって、千葉工業大学の屋上に素晴らしいラウンジがありますが、一般市民も巻き込んで何かイベントしてみるとかあっても良いかと思います。	P20 基本目標2 (エ)⑧ ・P17～18 基本目標2 (ウ)① ・P31～32 基本目標4 (オ)①
14	会長	必要な体制づくり、組織づくり	何をするかを具体的に書くのではなく、創出するために必要な体制づくり・組織づくりを書き、多様な人たちを巻き込んで会議で決めたり、イベント型で決めたりする形もあるのではないのでしょうか。	・戦略策定後、H28年度予算編成作業と併せ、別途アクションプランを作成する際に検討いたします。
15	会長	学校給食	日本一給食が美味しい市は良いかと思います。	P9 基本目標1 (エ)⑩
16	小林委員	都市型農業の推進、ブランド化	ニンジンを用いてのPRは効果的だと思います。長野県川上村では、農家の年商が平均2千万円以上と言われています。葉物しか生産していませんが、標高1千m以上なので稲作は出来ません。個々の農家に「あれを作りなさい」と指示をするわけにはいきませんが、市が何か経営が出来る素晴らしくかと思っています。	P18～19 基本目標3 (エ)④⑤
17	会長	市産市消	市内にあるレストランと農家が連携し、習志野市のおいしい野菜プレートとして提供することはどうでしょうか。	
18	小林委員	都市型農業の推進、ブランド化	収穫量が少ない方がブランド化できるのではないのでしょうか。	P27 基本目標4 (ア)①
19	会長	低未利用地の活用	農地に限らず、一般的な低・未利用地をどうするかが重要です。公共施設再編で公共用地を減らそうという、一方、今後も高齢者福祉施設のニーズが高まっていくわけですから。施設を良い状況で使えるようにしておくのは、市としても重要な戦略だと思います。そこをどうするかが課題になります。	
20	古賀委員	学生の地域への愛着の醸成	地域と学生が繋がれば学生も愛着がわくのではないのでしょうか。鎌倉の事例で「ファブラボ鎌倉」というのがあり、慶応の学生と市民がものづくりをするイベントを開催しています。このようなことを習志野でもすると良いのではないのでしょうか。3Dプリンターを使えるようにし、学生も市民も利用できるものづくり教室もおもしろいと思います。	・P15 基本目標2 (ア)③ ※戦略策定後、H28年度予算編成作業と併せ、別途アクションプランを作成する際に検討いたします。
21	会長	大学の地域活動情報の一元化	大学それぞれで取り組みをしていますが、情報が一元化されていなくて広まっていないということがあります。	P15 基本目標2 (ウ) ※戦略策定後、H28年度予算編成作業と併せ、別途アクションプランを作成する際に大学との調整の上、検討していきます。
22	布川委員	大学の地域活動情報の一元化、学生の地域活動の取組	情報の一元化は重要だと思います。お互いに協力することは大事なので、市や3大学で連携するセクション等があるとよいと感じます。それが例えばファブラボという形で実現できればよいと感じます。確かに、自分も学生として学生に開かれている環境は基本的に平日等に限られてしまっていると感じました。土日等の利用したい時間は使えなかったりします。また、学生も設備投資したいと思っています。一般市民にも開かれた形で、市に一つ、工作、加工用の機械などが使える大学などで使えるレベルの施設があると良いと思います。	
23	会長	連携	やはり連携が必要かと思っています。どの大学も市のために行っているのではありません。広く色々な人々にサービスしていくのが地域サービスです。ですので習志野市や船橋市だけではなく、その意味でも連携が必要だと思います。	
24	有田委員	企業誘致と防災	企業誘致の問題があると思いますが、誘致場所をよく検討していただきたいと思っています。しっかりした台地ならデータセンターなども十分可能ですが、3.11の際に工場が液状化してかなり被害があったと耳にします。そういったことを十分管理してから誘致してほしいです。地域と企業が連携、地域と防災がタイアップし、防災の連携を十分検討してほしいと思います。	東日本大震災時に係る海浜部の液状化について、市、県の持つデータを企業へ情報提供していきます。
25	有田委員	「見える化」	住民に「見える化」をしていかなければ、学校と市役所だけで行っているのも市民には浸透していかないと思います。	総合戦略の情報発信、周知を行っていきます。

No.	意見者	分類	意見概要	対応
26	会長	企業誘致のインセンティブ	今の事にも関連して「見える化」とインセンティブの導入をどのような形で企業誘致に向けて取り組めるかもぜひご検討いただけたらと思います。	検討中
27	会長	安全対策：防犯カメラの設置	「安心」のために防犯カメラを増やしていく話と、プライバシー、個人情報の問題点のバランスをどうするかということに関わってきます。公共施設等に設置する防犯カメラは、防犯、記録用になり、ある意味必要になってきていると思いますが、習志野市は全体的に弱く、公共施設にカメラを付けてないと思いますが、どう対応するかです。	P19 基本目標2 (エ)⑦
28	小林委員	出生率の向上	出生率を上げる施策を考えていただけるとよしいかと思います。出生数を増やすという施策が全然出てきていません。産んだら親が得をするというような施策が打ち出せればと思います。そこまでいなくても、少なくとも3人以上いる多子家庭に優遇するような給付など。外国では現金給付で成功している例もあります。国全体で考えるべきことだとは思いますが、習志野にある3大学でも帰国子女枠が設けられているなら、多子家庭枠があってもよいと思います。	基本目標1全般
29	会長	習志野ブランド	習志野ブランド以外で力を入れたい等のアイディアはありますか。皆さんがよろしければ、次回までに「ブランドっていったい何だろう」というアイディアを出していただければと思います。	
30	会長	魅力ある公園整備	ふなばしアンデルセン公園は資本が入っているわけですから参考になるのではないのでしょうか。	P18 基本目標2 (エ)②
31	会長	集客施設の近隣へのサービス	近隣施設については、迷惑に感じられる方もいるはずですが、近隣に対するサービスを提供することは大事かもしれません。	

第2回総合戦略等策定懇話会(H27.8.10)での人口ビジョンに係る主な意見【会議の場で回答済の質問を除く】

No.	意見者	分類	意見概要	対応
1	会長	人口ビジョン	平成53年には8千人程度減少することが分かりますが、市にとって8千人減少することがどの程度意味のあることなのか、計画で上手く表現する方法はありますか。今後、市の人口は8千人減少していきますが、どの程度インパクトを与えるか示した方がよいかと思います。現状の数値に合わせつつ、かつ中身が重要です。今の社会を支えながら現状のままにしていけば、どの程度のことをしなければならないのでしょうか。数字が独り歩きしない形で示していただけたらと思います。その辺はご検討いただけないでしょうか。	検討中

第2回総合戦略等策定懇話会(H27.8.10)後に提出された主な意見

No.	意見者	分類	意見概要	対応
1	菅野委員	創業・起業支援の強化、企業誘致の推進、地域産業の活性化等	金融機関と一緒にやっていくということをもっと前面に出して記載してよいのではないかと。 創業支援においても、地銀と金融公庫等と連携して、といったことを出してはどうか。 地銀同士のネットワークがあり、県内他市の事業者の紹介だけでなく、例えば、福岡の地銀との提携を活用するなど、販路の拡大等においても、遠方の地銀の顧客とのビジネスマッチング等も進めることができる。	基本目標3 P27(ア) P28(ウ)及び③